

# リズムにのって「百人一首」を覚えよう!

山形市コミュニティファンド 公開プレゼンテーション補助事業 主催：山形市五色百人一首教室



本事業は、小学生のうちから「百人一首」を身近に親しむことで、学習への意欲向上とやまがたの偉人・最上義光公の功績に興味を持ってもらうことをねらいとしています。また、老若男女を問わず、多くの人に「百人一首」に親しんでもらうためのきっかけを作ることを目的とした事業です。

具体的には、五色百人一首の体験教室の実施と「百人一首ラップCD」の作成・配布を行います。



無料CDは、山形市内の小学校1年生を対象に配布予定です。(興味を持っていただけると嬉しいです)

また、練習用に作成した音源は下記URLからご覧いただけますので、ご自由にご覧ください。なお、CDは、今回の体験教室に参加した小学生の皆さんにレコーディングの協力をお願いする予定です。(参加してくれた小学生の皆さんには学年に関係なくCDをプレゼントさせていただきます。)



<https://youtu.be/hY0eSx3sx9I>

五色百人一首体験教室・ラップレコーディング練習会への参加申込は、メール又はFAXをお願いします

- 1 mail:shun-agasuke@mirror.ocn.ne.jp 山口宛
- 2 FAX 023-600-7165
- 3 お名前 ( )
- 4 学校名 ( )
- 5 学年 ( ) 年
- 6 連絡先・電話番号 ( )
- 7 希望日 ( ) 10月29日 16:00~17:30  
( ) 11月4日 16:00~17:30  
( ) 11月18日 16:00~17:30

**参加費：無料**

※希望の日に○をつけてください

FAXでお申し込みの場合は、このまま送信してください。

会場  
霞城セントラル3階  
山形市保健センター  
ふれあいの間  
山形市城南町 1-1-1

なお、レコーディングは12月中に山形市内のスタジオにて予定しております。現在、日程調整中のため、お申し込みいただいた方のみ連絡させていただく予定です。裏面に百人一首ラップの歌詞を掲載しています。ご覧下さい。

あしびきの やまどりの しだりおの ながながしよを ひ とりかもねん  
山鳥の尾っぽの様、長い夜をあの人に逢えず、独り寝る。  
ありあけの つれなくみえし わかれ あかつきばかり う きものはなし  
有明の月は冷ややかであの娘にも冷たく帰りをせかされた。  
あらしふく みむろのやまの もみじはは たつたのかわの に しきなりけり  
山風で吹き散る山の紅葉、川は綺麗で、錦の様  
おくやまに もみじふみわけ なくしかの こえきくときぞ あ きはかなしき  
紅葉踏み分け、鹿の鳴声を聞く秋は悲しく。

文字に込めて届ける気持ちは 何百年も時を越えて  
新たな息吹を吹き込むメロディー/ ここから～  
チョッだけ少し背伸び 歌い続けたい この先も～  
old end new all need is love この想いはきっと、何時か

あさぼらけ ありあけのつき みるまでに よしののさとに ふれるしらゆき  
明け方、真昼の月の様な、雪が吉野の里に降り続いている。  
さびしさに やどをたちいでて ながむれば いづこもおなじ あきのゆうぐれ  
寂しさがつのり家から出ると、寂しい秋の夕暮れか。  
かささぎの わたせるはしに おくしもの しろきをみれば よ そふけにける  
翼で渡した橋、星の白さに、夜感じる。  
きみがため おしからざりし いのちさえ ながくもがなと お もいけるかな  
君の為なら、逢う為に長く生きたい気持ち。

文字に込めて届ける気持ちは 何百年も時を越えて  
新たな息吹を吹き込むメロディー/ ここから～  
チョッだけ少し背伸び 歌い続けたい この先も～  
old end new all need is love この想いはきっと、何時か

うかりける ひとをはつせの やまおろしよ はげしかれとは いのらんものを  
私に振り向いてほしいと祈ったのに。風も貴方もキツくあたる  
あまつかぜ くものかよいち ふきとじよ おとめのすがた し ばしとどめん  
天を吹く風よ、通り道閉ざし少し地上に留めておきたい。  
めぐりあいて みしやそれとも わかぬまに くもがくれにし  
久しぶりに逢えたのに、月のよう貴女は帰ってしまった。  
わたのはら こぎいでてみれば ひさかたの こもいにまごう おきつしらなみ  
大海原、漕ぎ出し、雲の様、白波が立っていた。

文字に込めて届ける気持ちは 何百年も時を越えて  
新たな息吹を吹き込むメロディー/ ここから～  
チョッだけ少し背伸び  
歌い続けたい この先も～  
old end new all need is love  
この想いはきっと、何時か